



「地域学校協働活動推進員」って知っていますか？



「救命講習会」実施の様子

学校と地域の橋渡しをする「地域学校協働活動推進員」（以下、「推進員」）さん。現在、市内全小中学校に1～2名が配置されています。その推進員さんに聞きました。

1. 配置校はどこですか？

「一田市中学校」です。



帆足 雅子さん

4. 活動してみて嬉しかったことは？

校長先生や教頭先生方と活動のために度々打ち合わせをしますが、「学校の授業ではできないけれど、子どもたちにとっては必要なこと（体験）をしたい」という要望があり、それが実現したときに、大好きな「一中生」の役立てて嬉しくなります。

2. 推進員になつたきっかけは？

就任当時、お声かけをいただいた校長先生が、一田市中学校に長く在職され、子どもたちのためにとても尽力されていたので、私なりの恩返しができればと思い、お声を受けました。

5. 活動してみてわかつたことは？

推進員という活動の幅が余りにも広く、仕事をしながらではたいへんなこともあります。自分なりのスタンスを模索中です。

6. 将来、やつてみたい活動は？

ただただ悩みを聞いて欲しいだけ、誰かと話がしたいだけという、生徒、保護者、教師、地域の方などが、何となく行ってみようかな…と思える【オアシス】のような居場所を、一田市中学校の校内に設けることが夢の夢です。風通しの良い、一息つきの場所を作つてみたいです。

7. 地域・学校の声

推進員の方に学校と地域のつなぎ役として活動していただいていることで、地域の情報がよくわかるようになりました。また、学校では普段できない行事（救命講習会など）を企画していただき、教師の負担軽減にもつながっています。

（一田市中学校 岩切 優子校長）